



弁天歴史公園

石狩市弁天町38番地

1

石狩のシンボルとして、弁天歴史通りと一体的に作られた公園。園内には旧石狩病院の和室を再生した楽山居、かつてあった運上屋を再現した運上屋棟、石狩の礎を築いた先人達を讃える碑など当時の石狩を知ることができます。



先人たちの碑

石狩の歴史を築き上げた先人の苦勞をたたえた碑で、石狩川を中央に配し、石狩を象徴する鮭とハマナスをモチーフにしたデザインになっています。



バザール広場・野外集会スペース

既存の地形をいかして、バザール広場に向かって利用者が座れる場所をつくりました。バザール広場をステージとしたイベント時には客席として利用できます。



楽山居

旧石狩病院の和室を昭和12年の建築当時の姿に再生。絞り丸太を使った床の間や付け書院があり、持ち送り板、欄間など意匠を尽くした純和風の造りです。和風庭園を眺めながら趣のある和室で茶会や句会そして会合まで多目的に利用できます。

料金 1時間/400円
お申込み 0133-62-4611
(一社)石狩観光協会



石狩弁天社

石狩市弁天町18番地

2

創立1694年(元禄7)、鮭の豊漁を願って建てられた300年の歴史を誇る市内最古の建物。主神は弁天様のほかに、石狩川の主を神格化し「妙亀法鮫」通称サメ様が奉られています。

※見学の際は(一社)石狩観光協会
TEL:0133-62-4611へ連絡を。



太郎代天曝観音

石狩市弁天町18番地

3

西国三十三箇所霊場内にある「太郎代天曝観音」は戦前、石狩浜のサケ漁業と北洋漁業で活躍した吉田庄助氏が、故郷新潟の太郎代浜村から昭和10年に太郎代天曝観音のご分身を迎え安置したものです。



西国三十三箇所霊場

石狩市弁天町18番地

4

故郷を遠く離れた信仰心厚い吉田庄助氏が、永住の地石狩の安泰を願って建てました。また、故郷である新潟の天曝観音が安置されている塔婆山に三十三体観音があったことから、石狩にも三十三箇所霊場ができました。これは、本町地区の婦人たちの寒修行による浄財と住民の寄付で建てられました。



石狩尚古社

石狩市本町西3番地

5

鮭漁に沸いた明治から昭和の初期にかけて繁盛した中島呉服店。当時の店主らが1856年に俳句結社「石狩尚古社」を結成して全国各地と交流するとともに、中島家に多くの俳句資料と収集した書画などを残しました。

※私設資料館なので、来場者があるときのみ開館します。
事前に電話連絡してください。

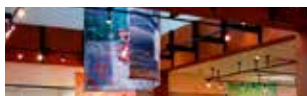
お問合せ 0133-62-3380 中島さん宅

いしかり砂丘の風資料館

石狩市弁天町30番地4

6

石狩川河口地域の自然と歴史、縄文時代の砂丘の人々についての展示をしている資料館です。石狩に日本で初めて西洋式缶詰工場ができた場所である



石狩
歴史
発見

石狩歴史めぐり



23



社』を結成して全国各地と交流することにも、中島家に多くの俳句資料と収集した書画などを残しました。
※私設資料館なので、来場者があるときのみ開館します。
事前に電話連絡してください。

お問合せ 0133-62-3380 中島さん宅

いしかり砂丘の風資料館

石狩市弁天町30番地4

6

石狩川河口地域の自然と歴史、縄文時代の砂丘の人々についての展示をしている資料館です。
石狩に日本で初めて西洋式缶詰工場ができた場所であることにちなんで、手動のマシンでオリジナルの缶詰づくり体験ができます。本資料館に隣接の市指定文化財「長野商店」は、明治時代に建設され、市内に現存する木骨石造建築としては最古のもので、往時の石狩町の繁栄を現代に伝えます。

開館時間 9時30分～17時まで
入館料 300円(中学生以下無料)団体(15人以上)240円
休館日 火曜日、年末年始(火曜日が祝日の場合はその翌日)
お問合せ TEL・FAX:0133-62-3711

旧長野商店

石狩市弁天町30番地5(いしかり砂丘の風資料館隣)

長野商店は、越後出身の長野徳太郎が創業した商店で、明治から大正時代の石狩町を代表する商家でした。明治27年に建てた石造の店舗で、隣接する石蔵とあいまって、繁栄する石狩町の「顔」として親しまれました。

公開期間 9時30分～17時まで
入館料 いしかり砂丘の風資料館の入館料が必要です。



厚田資料室

石狩市厚田区厚田(厚田公園内)

7

開館期間 5月1日～10月31日
開館時間 10時～16時
休館日 火曜日(祝祭日については翌日)
入館料 200円(中学生以下は無料)、団体(15名以上)160円
お問合せ 0133-78-2250(厚田生涯学習課)
0133-62-3711(文化財課)

厚田区出身の著名人



佐藤 松太郎
(1863～1918)
北海道屈指の鯨漁の網元で、道会議員もつとめた。



子母澤 寛(1892～1968)
時代小説家、代表作に「勝海舟」「新撰組始末記」「厚田日記」などがある。



戸田 城聖
(1900～1958)
創価学会第2代会長。創価学会の基礎をつくった。



吉葉山 潤之輔
(1920～1977)
第43代横綱。美男子でスタイルもよく人気があった。引退後は宮城野部屋を開き、後進の指導にあたった。



史跡荘内藩ハママシケ陣屋跡

石狩市浜益区川下

8

安政6(1859)年、幕府から警護を命ぜられた荘内藩は、現在の川下(かわしも)地区を開拓し、十余棟の邸舎を建て、それを御陣屋と称していました。この跡が今も川下神社横に残り、昭和63年5月に国指定の史跡となりました。



岡島洞窟遺跡

石狩市浜益区浜益

9

昭和11年、34年の2度にわたる発掘調査により、縄文文化期から擦文文化期までの7期間にわたる住居跡と判明。内部からは人骨、土器、石器などが多数出土しました。特に第4文化層からはオホーツク土器が発見され、日本海沿岸最南端の遺跡として学界より注目を集めています。
※現在は落石防護壁により閉じられているため、見学は出来ません。

石狩歴史めぐり